書評

鍋谷堯爾『詩編を味わう　I　1 - 41 篇』(351 頁)
『詩編を味わう　II　42 - 90 篇』(478 頁)
(いのちのことば社、2005、2007 年)

牧野信成

旧約聖書の『詩編』に関する書物の出版が内外で盛んである。日本では専門の研究書が稀なのは残念だが、一般信徒が自分に相応しい水準の講解書を手にしようと思えばすぐにも数冊は見繕うことができる。昨今の「詩編ブーム」の背景にはキリスト教会全体を包む礼拝刷新運動があり、その中で詩編を霊性の拠り所としようとするモーメントが働いているように思われる。教会の霊性が現代に至って自然と詩編に向かうようになったのは教会史的関心からしても興味深い。

鍋谷堯爾氏の『詩編を味わう』は頃合を見計らったかのごとくそうした教会の要請に応える書物で、150 の詩編全体を 1 編ずつ丁寧に解説する試みである。詩編の神学や文学的特質を要領よく整理して理解する類の教科書とは違い、詩を一編ずつ味わいながら、その豊かな詞を日常生活の傍らに置くための黙想の手引きとなっている。福音主義神学会の重鎮として旧約学を今日まで先導され、神戸ルーテル神学校で長年教鞭を取られた氏ならではの、本文に対する所見が随所にちりばめられていて、読者は詩編を味読しながら自然に聖書の学問的な知識をも身につけることができる。特に詩編に対するルターの注釈が頻繁に引き合いに出されるところは本書の特質といってよい。

本書は全3巻で完結する予定で、今のところ2冊が公刊されている（第1部1-41編、第2部42-90編）。一貫した講解の取り組みではあるが、アジア神学大学院でのゼミを背景に纏められたということで各巻毎に趣向が異なる結果となりそうだ。その点は著者自身が次のように述べている。「第一部はどちらかといえば、個人として、詩編のテキストに向かい、語ってくださる神のメッセージを受けとめて、いろんな霊想に導かれたといえよう。第二部は…新改訳第三版に明示されたトランスペアレントな読み方について考察した。…個人よりも教会すなわち信仰の共同体や、国家、あるいは、全人類の歴史に語りかける神のメッセージに耳を傾けることが多かった」（第2部「まえがき」より）。150編全巻の講解は釈義家にとってはやりがいのある仕事だが、読み手にとっては退屈極まりないものともなりかねない。著者はその辺りも十分弁えて、いかに詩編を生き生きと学ぶかに心をくばりながら実に多様で豊かな講解を続ける。

「トランスペアレントな読み方」とは、かつて共同訳で試みられたようなナイダのダイナミック・イクイヴァレンスに対して、原文が「透けて見える（トランスペアレント）」ような原語を生かした訳のことで、新改訳第三版で採用された翻訳方針である[1]。『詩編を味わう』では新改訳第三版のテキストが各編の冒頭に置かれており、本書はその訳に寄り添う講解書として準備される。著者が述べる「トランスペアレント」とは、原語の意味や表現形式など、原文の形態が透けて見えるというだけではない。聖書全体を繰り返し読むことによってテキストから浮上してくる意味をも指す[2]。豊富なメッセージを湛えながら著者が本書で用いる一貫した解釈法は、新改訳のトランスペアレントな訳を生かすために、あくまでテキストに密着しながら同時に新約を

[1] Raymond C. Van Leeuwen , "We Really Do Need Another Bible Translation", *Christianity Today,* (10/22/2001), http://www.christianitytoday.com/ct/2001/october22/5.28.html.

[2] 著者は次の論文で宗教改革の解釈原理として「トランスペアレントな解釈」の今日性を訴えている；鍋谷堯爾「ことばというものはそのままにしておかねばならない－イザヤの頑迷預言を事例として－」『福音主義神学』第36号（日本福音主義神学会、2005年）111～128頁。

も含めた聖書全体の文脈からよく吟味し、注解書を用いて解釈史を紐解く、というオーソドックスな教会のスタイルを採る。第一部の「まえがき」にはその方針が簡潔明瞭に次のように述べられている。

1．わかりにくいと思える表現や原意をそのまま用いる。
2．聖書全体を読む。
3．繰り返し読む。

これを原則としながら、個々の詩編の特質に従って、時には並行法（パラレリズム）等の文体の解説に集中し（第1編「幸いな人生への招き」）、時には新共同訳を参照しながら翻訳の問題へと展開する（第42編「それでも、なお、神を求める」）。

各編の構成は、まず訳文が掲げられる。先に記した通り、新改訳第三版が主に用いられるが、「私訳」のときもあり、新共同訳と併記される場合もある。このような自由さが注解書とは異なる本書の味わいであろう。次に解説部が続き、詩の並行法に着目して文体からの読み解きが施されて、各種注解書が参照される。それらは平板な解説には留まらず、著者自らの黙想によって、新約聖書やルターやカルヴァンは勿論のこと、M.ブーバーから矢内原忠雄まで様々な事例が引き合いに出される。解説部にはときおり別枠でコラムが挿入され、「主への恐れ」（第4編）や「神の啓示」（第19編）など神学的な主題の他、考古学的知識（第37編「死海文書」、第46編「ヒゼキヤのトンネル」等）や聖書の植物について（第1編「なつめやし」、第51編「ヒソプ」等）などが詩編の学びに深みと楽しみを添えてくれる。最後に〈文体のコメント〉〈異読のコメント〉〈用語のコメント〉が節の要所に与えられており、解説部におけるテキストの説明を補っている。これは丁寧な聖書研究を志す者には有益であろう。

一編の解説は実に簡潔で、日毎のデボーションに用いるのに最適である。また、礼拝で詩編に短い解説を加えながら朗読をしたり詩編歌を歌ったりするグループにとっても、メッセージを準備するのに大いに助けとなる。本書は決して偏狭な教派主義に陥っていない、福音主義に立つバランスの取れた聖書信仰の健全な模範である。この内容からして、おそらく牧師や神学生に最もよく利用される書物となろうが、教会の信徒の方々がこうした書物を通

して聖書に親しまれることを心から願う。詩編は全体としてドラマティックな書物ではないかも知れない。それにしては数が多すぎる。しかし、詩編は常食とすべき「みことばの糧」である。日毎に食べ続けることが、魂をキリストの内に養う。

(神戸改革派神学校教授)

会員刊行文献目録 (2006.10～2007.10)

● 著書

石黒則年 (共著) 「エリヤ」「ソロモン」『新エッセンシャル聖書辞典』いのちのことば社、1213 頁、3400 円

石黒則年 (共著) 「『国際』と教養教育の広がり」『新しい教養への道しるべII』大阪キリスト教短期大学、174 頁

石黒則年 (共著) 「聖書の基本的な教え」『新クリスチャン生活百科』いのちのことば社、671 頁、3400 円

大川修平 『ペンテコステ神学』マルコーシュ・パブリケーション、446 頁、2835 円

柿谷正期 (監修) 『自閉症を含む軽度発達障害の子を持つ親のために』(佐藤真司、瀬田剛、馬場悠輔共著) アチーブメント出版、175 頁、1500 円

Kiuchi, Nobuyoshi. *Leviticus* (Apollos Old Testament Commentary 3), Nottingham/Downers Grove: Inter Varsity Press, 538pp, $ 21.99

櫻井圀郎 『教会と宗教法人の法律』キリスト新聞社、451 頁、5000 円

佐布正義 『荒野の道標 I』(エクソダス篇) 新生宣教団、463 頁

佐布正義 『荒野の道標 II』(ロゴス篇) 新生宣教団、502 頁

佐布正義 『荒野の道標 III』(プニュウマ篇) 新生宣教団、502 頁

佐布正義 『荒野の道標 IV』(エクレシア篇) 新生宣教団、527 頁

津村俊夫 『創造と洪水』(「聖書セミナー 13」) 日本聖書協会、178 頁、1900 円

Tsumura, David Toshio. *The Book of 1 Samuel* (NICOT) Grand Rapids: Eerdmans, 698pp, $ 50.00

津村春英 『「ヨハネの手紙一」の研究—聖書本文の帰納的研究』聖学院大学出版会、233 頁、4000 円+税

豊川 慎 (共著) 「内村鑑三—南原繁の内村観」『宗教は不必要か—南原繁

の信仰と思想』to be 出版、287 頁、1800 円

鍋谷堯爾　『詩篇を味わう Ⅲ 90－150 篇』いのちのことば社、509 頁、2800 円

鍋谷堯爾　『ウェストミンスター物語』株式会社ヨベル、267 頁、1500 円

野口良哉（編共著）　『茨城キリスト教大学チャペル奨励集（第三集）』茨城キリスト教学園宗教センター、76 頁

藤巻　充　『生ける望み—「ヤコブの手紙」から「ヨハネの黙示録」の聖書的説教』ヨベル社、330 頁、1890 円

三好　明　『正典として聖書を読む』日本キリスト教会神学校神学研究会、31 頁、非売品

● 訳書

スザーン・ジョンソン著、梅田與四男訳『スピリチュアル・フォーメイション』一麦出版社、284 頁、2730 円

ウィリアム・グラッサー著、柿谷正期訳『幸せな結婚のための 8 つのレッスン』アチーブメント出版、210 頁、1890 円

ウィリアム・グラッサー著、柿谷正期訳『メンタルヘルス』NPO 日本リアリティセラピー協会、58 頁、500 円

R・J・フォスター著、中島修平訳『スピリチュアリティ 成長への道』日本キリスト教団出版局、280 頁、3000 円

ディヴィッド・W・ベーカー著、山口勝政訳『ナホム書、ハバクク書、ゼパニヤ書』（ティンデル聖書註解）いのちのことば社、144 頁、2625 円

● 論文

石黒則年　「申命記 34 章の釈義的一考察～モーセの死をめぐって～」（『神学と人文』第 46 集、大阪キリスト教短期大学紀要）1－8 頁

市川康則　「宣教としての讃美・讃美としての宣教—神学的随想—」（『改革派神学』33 号、神戸改革派神学校）29－49 頁

柿谷正期　「基本的欲求プロフィールの主要 5 因子性格検査との関連性研究」（田中宏明、馬場悠輔共著、『選択理論心理学研究』第 10 巻 第 1 号、日本選択理論心理学会）91－102 頁

柿谷正期　「選択理論における基本的欲求プロフィール研究—基本的欲求尺度の作成」（馬場悠輔、瀬田剛共著、『選択理論心理学研究』第 10 巻 第 1 号、日本選択理論心理学会）59－74 頁

柿谷正期　「選択理論の発達とその位置づけ」（『選択理論心理学研究』第 10 巻 第 1 号、日本選択理論心理学会）3－7 頁

川越敏司　「自閉症と教会 1」（『福音と世界』第 62 巻 10 号、新教出版社）39－46 頁

川越敏司　「自閉症と教会 2」（『福音と世界』第 62 巻 11 号、新教出版社）51－57 頁

木内伸嘉　「『いのちの書』－聖書神学的考察」（『Exegetica』 17 号、聖書釈義研究会）19－43 頁

Kiuchi, Nobuyoshi. “Living like the Azazel Goat in Romans 12:1b,” Tyndale Bulletin 57/2, pp.251-261.

窪寺俊之　「スピリチュアルケア—キリスト教の立場から」（『心と社会』第 37 巻 4 号、126 号、財団法人日本精神衛生会）46－50 頁

窪寺俊之　「特に意思表明できない人にどう向き合うか」（『医学と福音』第 58 巻 10 号、日本キリスト者医科連盟）15－19 頁

窪寺俊之　「日本人の古層のスピリチュアリティを求めて—『竹取物語』を資料にして」（『神学研究』第 54 号、関西学院大学神学研究会）

Kubotera, Toshiyuki. “Searching For the Possibility of Using the Japanese Folk Tale, Taketori-monogatari For the Spiritual Care of Dying People”, Kwansei Gakuin University Humanities Review, Vol. 11, 2006（発行 2007.2）pp.13-23.

黒川知文　「内村鑑三とユダヤ人Ⅱ 再臨運動とユダヤ人問題」（『愛知教育大学研究報告（人文・社会科学編）』第 56 号）57－60 頁

坂井純人　「初期改革派正統主義における聖定論と契約神学—ベザからウエストミンスターへ」（『改革派神学』第 34 号、神戸改革派神学校）

138－166 頁
櫻井圀郎　「公益法人改革三法の概要とその問題点」（『キリストと世界』17 号、東京基督教大学）54－90 頁
櫻井圀郎　「『さばき』の神学」（『基督神学』19 号、東京基督神学校）30－83 頁
櫻井圀郎　「ペット供養課税処分取消訴訟判決と宗教判断基準」（『宗教法』25 号、宗教法学会）99－122 頁
櫻井圀郎　「牧会における贖罪論の誤適用」（『聖書カウンセリング研究』創刊号、聖書カウンセリング研究会）34－49 頁
塚本　惠　「ヘレニズム・ユダヤ教におけるモーセ像の諸相」（『神学と人文』第 46 集、大阪キリスト教短期大学紀要）9－25 頁
津村俊夫　「イザヤ書 8 章 19 節における 'Elohim」（『Exegetica』17 号、聖書釈義研究会）45－58 頁
津村俊夫　「詩における垂直的文法（vertical　grammar）」『実験音声学と一般言語学：Experimental Phonetics & General Linguistics：城生伯太郎博士還暦記念論文集』東京堂出版）302－306 頁
津村俊夫　「ヤハウェと彼のアシェラ―古代イスラエルにおける一神教と多神教―」（『旧約学研究』3、日本旧約学会）1－15 頁
Tsumura, David Toshio. "The ≪ Chaoskampf ≫ Motif in Ugaritic and Hebrew Literatures", in J.- M. Michaud (ed), Le Royaume d'Ougarit de la Crete a l'Euphrate. Nouveaux axes de Recherche (Proche-Orient et Litterature Ougaritique II; Sherbrooke: GGC), pp.473-499.
津村春英　「ヨハネの手紙一の史的状況」（『神学と人文』第 46 集、大阪キリスト教短期大学紀要）20－40 頁
豊川　慎　「赦しと和解をいかに問うか―戦争罪責のキリスト教哲学に向けて」（『Emergence 創発』Vol.XII, Num1、共立基督教研究所）31－34 頁
豊川　慎　「リベラル・デモクラシーにおける政治認識とキリスト教民主主義の政治思想序説」（『キリストと世界』第 17 号、東京基督教大学紀要）1－29 頁
野口　誠　「パウロにおける人間の死と復活と栄化」（『宗教研究』351 号、日本宗教学会）238－239 頁
野町真理　「『神の痛みの神学』のキリスト中心的理解―キリスト者の生活における苦難の積極的意味を求めて」The Christ-centric understanding of "Theology of the Pain of God" －Seeking positive meaning of the pain in Christian life http://shinrinomachi.at.infoseek.co.jp/index2.html
Fukuda, Mitsuo　"Reaching the Japanese: Witnessing Approaches Adopted to the Needs of the Japanese People," *Japan Harvest*, vol.58, No.4,　pp.16-18.
山口勝政　「うつ病の認知療法と聖書カウンセリング」（『聖書カウンセリング研究』創刊号、聖書カウンセリング研究会）13－26 頁
山口勝政　「雑誌『聖書カウンセリング研究』発刊の辞」（『聖書カウンセリング研究』創刊号、聖書カウンセリング研究会）4－12 頁
山口勝政　「無牧教会の増加と格差社会」（『シンポジウム第 7 回「地方伝道を考える―自立と連帯」報告書』北関東神学研修センター）1－10 頁
油井義昭　「ダニエル書における教会と国家―ダニエル書に見る神の国と人の国―」（『基督神学』19 号、東京基督神学校）1－28 頁
吉本牧人　「エジンバラ世界宣教会議（1910）の報告書から見る二十一世紀の宣教」"The World Mission in The 21st Century: A Perspective from the Edinburgh Conference 1910", (『宣教学ジャーナル』第 1 巻、第 1 号、日本宣教学会)
吉本牧人(要約)「黒人アメリカ人とアフリカ宣教 1877－1900 年」"Black Americans And The Evangelization Of Africa 1877-1900" Walter L. Williams. Madison, Wisconsin,　The University of Wisconsin Press（『宣教学について学ぶ会会誌』Vol.4. No.1. 通算 10 号）12－27 頁
吉本牧人　「Ｊ．H. バビンクの Elenctics（顕罪論）に関する一考察」（『宣

教学について学ぶ会会誌』Vol.4. No.2. 通算 11 号）16－25 頁

● その他

市川康則 「宗教と政治の関係についての日本の教会の一般的理解—批判的コメント—」(Social Role of the Church in the Far East Asia, 白石神学研究所) 43－48 頁

市川康則 「『説教者』養成としての神学校教育—説教の同心円的広がりと頌栄的響きをめざして—」(『改革派神学』34 号、神戸改革派神学校) 35－58 頁

吉本牧人（寄稿） "KAIROS : The God's Timing", *Missio Dei* Number 13, Scottdale, Pa, Herald Press, pp.1-2, $3,95. Micael Sherrill, On Becoming A Missional Church in Japan

吉本牧人（書評） *Encountering New Religious Movements* By Irving Hexham, Stephen Rost, and John W. Morehead Ⅱ, General Editors. Grand Rapids: Kregel Publications 2004, 322pp., paper, $17,99., Missiology, Vol.XXXV, No.2. April 2007, pp.257-258.

部会・理事会報告 (JETS 掲載)

●東部部会

1. 理事会構成

○役員理事 理事長：内田和彦
書 記：関野祐二
会 計：渡辺 聡

○学会誌：木内伸嘉、藤本 満

○部門理事 聖書学：内田和彦
組織神学：関野祐二、丸山悟司
歴史神学：横山 武
実践神学：藤原導夫

2. 研究会・講演会

① 春期公開講座: 2006 年 6 月 19 日（月）

主題：「神のしもべか貪欲な獣か」 コーディネーター・水草修治氏

発題 1 油井義昭氏「ダニエル書における教会と国家 －ダニエル書に見る神の国と人の国－」

発題 2 内田和彦氏「カイザルのものはカイザルに －マルコ 12 章 13～17 節 par.の研究－」

② 秋期研究会: 2006 年 11 月 27 日（月）

主題：「古代教会史に光をあてる」 司会 内田和彦氏

発題 1 小林高徳氏「ナグ・ハマディ文書におけるヨハネの福音書の解説—新約正典とグノーシス主義—」

発題 2 丸山悟司氏「ニカイア公会議をめぐる諸問題－コンスタンティヌス時代の光と影－」

③ 部門活動

聖書学部門: 2007 年 1 月 22 日（月）

研究発表 ランドル・ショート氏 " The Significance of 'the

History of David's Rise' in its Biblical Context"（旧約）
三浦 譲氏「予言者ダビデ一使徒の働き 2 章におけるペテロの詩篇引用」（新約）

3. 会員異動
〈入会〉三浦　譲氏（日本長老・横浜山手キリスト教会）
岡村直樹氏（東京基督教大学）、
〈退会〉青山輝徳氏、岡沢修一氏（召天）、斉藤篤美氏、坂本献一氏、
西本恭久氏、廣橋嘉信氏、小助川次雄氏

●中部部会
1. 理事会構成
○役員理事　理事長：安村仁志
書　記：石川　正
会　計：佐々木保雄
○学会誌：松浦　剛、檀原久由
○中部部会会報：檀原久由、関　昌宏
2. 研究会・講演会
公開講演会　2006 年 5 月 29 日
渡辺　聡氏「ポストモダン社会に対するキリスト教の応答」
秋季研究発表会　2006 年 11 月 13 日
川口一彦氏「中国景教の歴史と教義」
木下裕也氏「植村正久「真理一斑」に見るキリスト理解」

中部部会会報　第 6 号
工藤弘雄氏「キリスト者の霊性一救済論に基づく実践的霊性一」
関　昌宏氏「東方教会から学ぶ一J・WESLEY との関わりを中心として」
渡辺睦夫氏「三つの歴史（ローマ・カトリック、ギリシャ正教、プロテスタント・福音主義）から：霊性と神学の間」
水上　勲氏「キリスト者の成長と教育の狭間にあって」

松浦　剛氏「別所梅之助とその働き」
3. 会員異動
〈入会〉西田伶宏氏（インマヌエル綜合伝道団富山キリスト教会牧師）、山崎
ランサム和彦氏（リバイバル聖書神学校教授）
〈退会〉富渾誠治氏、藤永　康氏

●西部部会
1. 理事会構成
○役員理事　理事長：市川康則
書　記：正木牧人
会　計：鷹取裕成
○学会誌：市川康則、安黒　務
○理　事：工藤弘雄、橋本昭夫、津村春美、福田充男、瀧浦　滋、真鍋　孝、
大田裕作、金井由嗣
2. 研究会・講演会
2006 年春の研究会　4 月 24 日（月）（関西聖書学院）
「宣教と神学：ユダヤ人伝道の神学的位置付け」
講演者：安黒　務氏
2006 年秋の研究会　11 月 27 日（月）（福音聖書神学校）
「福音主義的運動 The Evangelical lmpulse とその運動を神学的に彫琢する」
2007 年春の研究会　4 月 23 日（月）（神戸神学館）
研究発表
主題：「国家とキリスト教信仰:特に改定「教育基本法」をめぐって」
コーディネーター：瀧浦　滋氏、橋本昭夫氏、金井由嗣氏
講演者：池尻良一氏、金南檜氏、袴田康裕氏
3. 会員異動
〈入会〉三好明久氏、山本美紀氏、門谷　一氏
〈退会〉杉岡浩二氏、床次正規氏

●全国理事会報告

〔日時〕2007年5月7日（月）午後2時～5時

〔場所〕名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

〔出席〕東　部：倉沢正則（理事長）、内田和彦

中　部：松浦　剛、佐々木保雄

西　部：鷹取裕成（会計）、正木牧人（書記）、市川康則

学会誌：（市川康則、松浦　剛）　　（敬称略）

■開会の御言葉と祈祷：倉沢理事長

創世記のあなたはどこにいるのか、イザヤ書のわたしはここにおります。人を探し続ける神の姿「自分探し」の時代、五月病、憲法の見直しの社会、人を探す神に出会うと自分と出会う（カルヴァン）日本福音主義神学会は1970年発足　対・自由主義的成り立ちだか積極的な方向性を問う時代

■報告:

1. 全国理事会（正木）配布「2006年度全国理事会議事録」承認
2. 東部（内田）別紙「第38回総会資料」に基づき報告
3. 中部（佐々木）別紙「日本福音主義神学会中部部会報告」に基づき報告
4. 西部（正木）別紙「西部理事会議事録」06年11月27日、12月28日、07年4月23日と「総会議事録」07年4月23日、「研究会議案内」06年11月27日と07年4月23日に基づき報告
5. 学会誌（松浦）
   - 37号: 目次に説教担当の工藤弘雄氏の名の記載漏れ。説教の内容は載っている
   - 38号：中村健之介氏への執筆依頼を断念。代案として安村仁志中部理事長が執筆考慮中。巻頭言は全国理事長に依頼。編集委員長市川康則氏は西部の理事長となったが委員長継続
6. 会計（鷹取）
   - 別紙「日本福音主義神学会全国会計2006年度決算報告」に基づいて報告承認
7. JETSニュース（佐々木）29号を発行した
8. 全国研究会議準備会報告（審議のところで一括報告）
9. その他　特になし

■審議

1. 役員構成確認　今年度の方針
   - 全国理事長は5月28日東部総会で選出され新東部理事長が就任する。書記、会計は留任
   - 今年度は来年の全国研究会議に向かって励む
2. 全国会計予算　別紙予算案承認
   - 特筆: 2007年度から「全国研究会議費」に毎年10万円計上。2008年は会議準備金を都合20万円を開催部会に拠出、以後は3年に一度開催なら都合30万円を準備金とし開催部会に拠出
   -「日本福音主義神学会」名義の郵便振替口座を今後入金等に用いられたい。 0114-6-32221
3. 学会誌
   - 39号のテーマ案：組織神学や聖書神学のテーマ、崩壊しつつある家庭、福音主義神学の行方
   - 例年全国会計から拠出する学会誌出版費の会計報告は毎年全国会計へ報告する。
4. JETSニュース
   - 全国訴理事長の巻頭言、全国理事会報告、会計報告・予算を佐々木氏まで提出のこと（締切7月末）。原稿は佐々木氏が整え、9月発行予定。
5. 全国研究会議
   - 西部理事会の相談内容を踏まえた本日午前の全国研究会議相談会（別紙：報告書）の簡単な説明のあと質疑応答と審議のときを持った。
   - 準備委員会：構成は西部理事全員と、本年各総会で選出する東部委員一名、中部委員一名。必要なら随時準備相談会開催可

6. 次回全国理事会予定

・2008年6月2日（月）午後2時～5時　名古屋国鉄会館会議室7階ひかり　　招集者：全国新理事長

・閉会祈り　市川

●学会誌報告

① 学会誌委員

東部：木内伸嘉、藤本　満（会計）

中部：松浦　剛（書記）、壇原久由

西部：市川康則（編集長）、安黒　務

② 37号発行

特集テーマ「霊性」2006年12月発行

論文　渡辺睦夫氏、橋本昭夫氏、内田和彦氏、森文彦氏、牧田吉和氏、水草修治氏、坂本誠氏、黒川知文氏

巻頭言　藤本満氏（全国研究会議の総括）

説教　工藤弘雄氏（全国研究会議の開会礼拝）

③ 38号特集「日本の宣教を考える」

執筆者西岡義行氏（東京ミッション研究所研究員の研究からの宣教論）

有賀喜一氏（福音クルセード、神学校校長等の経験を通しての宣教論）

福田充男氏（日本宣教の文脈化）

モニカ・ブルッテル氏（ドイツ人宣教師から見た日本宣教論）

書評　壇原久由氏（J・ペリカン著「教理史Ⅰ、Ⅱ）

牧野信成氏（鍋谷尭爾著「詩篇を味わう」Ⅰ、Ⅱ）

巻頭言　全国理事長

あとがき　市川康則氏

発行予定日　2007年12月

④39号テーマ（予定）

1. 環境倫理・自然と倫理
2. 病気と癒し

3. その他

●全国研究準備委員会

日時: 2007年5月7日（月）

場所：名古屋国鉄会館会議室

出席者：東部部会　内田和彦氏、倉沢正則氏

中部部会　松浦　剛氏、佐々木保雄氏

西部部会　正木牧人氏

主題について

西部部会理事会での相談内容を踏まえて、話し合いが持たれ「日本における伝道」という主題に決定した。具体的な内容について検討され以下のように纏められた。

1. 福音伝道の内容
2. 福音伝道の担い手
3. 福音伝道の受容者
4. 福音伝道の結実
5. 総括

準備委員会について

構成員は、西部部会理事全員と東部部会、中部部会各一名によって構成される。必要に応じて随時準備委員会を開催する。

日本福音主義神学会全国会計
2006年度決算報告および2007年度予算

収入の部

項　目	2006年度予算	2006年度決算	2007年度予算
東部分担金	450,000	450,000	450,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	390,000	390,000	390,000
学会誌売上	150,000	74,372	150,000
広告収入	150,000	190,000	150,000
献金	0	0	0
雑収入	0	0	0
前年度繰越	795,417	795,417	925,125
合　計	2,005,417	1,969,789	2,135,125

支出の部

項　目	2006年度予算	2006年度決算	2007年度予算
学会誌出版費	900,000	900,000	900,000
全国理事会費	150,000	109,940	150,000
事務通信費	10,000	3,599	10,000
ニュース発行費	30,000	31,125	30,000
研究助成費	30,000	0	30,000
全国研究会議費	0	0	100,000
名簿作成費	0	0	0
雑費・予備費	885,417	0	915,125
次年度繰越	0	925,125	0
合　計	2,005,417	1,969,789	2,135,125

総　計

項　目	金　額
出版基金	1,208,421
次年度繰越	925,125
合　計	2,133,546

現在額

項　目	金　額
郵便振替	1,947,815
現金	-4,269
未収金	190,000
合　計	2,133,546

論文執筆・投稿要項

――『福音主義神学』原稿執筆についてのお願い――

日本福音主義神学会

1. 提出方法

原稿は、ワープロで提出してください。コンピュータによる場合は、ＭＳワードがベターです（この件に関しては各部会の編集委員にご相談ください）。ファイルのほかにプリントアウトしたものを付け、その上で、文字の強調やイタリックを示してください。論文中のヘブル語の表記は、子音のみならば、ヘブル語、その他の場合は音写による（カナまたはラテン文字）。ギリシャ語は原文のまま（特にアクセント、ブリージングを正確につけてください）。論文は横書きですので、数字はアラビア数字になっていることを確認してください。

2. 枚　数

論文、研究ノートは15,000字から18,000字（たとえば、B5の紙、30字×30行のレイアウトで、16頁から20頁。書評、文献紹介は、2,000字から4,000字程度（先のレイアウトで3頁から5頁）。字数が超過した場合、書き直しをお願いすることがあります。

3. 締切期日

論文は毎年6月末日までに所属する部会（東部、中部、または西部）の編集者に提出してください。書評、紹介なども同様とします。

4. 投　稿

論文、書評の依頼は編集委員会から行いますが、論文を投稿することもできます。この場合、まず投稿論文のアウトラインと要旨を3月末日まで所属の部会の編集者に原稿を提出します。そして、編集委員会の審

査を受けることになります。採用された場合、原稿の締め切りは6月末日です。いずれの場合にも、原稿の最終取捨選択権は編集委員会にあります。

5. 注　記

注については、最近号の『福音主義神学』を参照してください。

6. 校　正

論文の校正は、原則として編集委員会で行います。なお、原稿提出後の訂正は最小限にし、する場合にも、ほぼ同一字数内での差し替えを原則とし、数行にわたる組み替えを必要とする加筆、削除などはご遠慮ください。

7. 原 稿 料

懸賞論文以外のものについて、原稿料は支払われません。論文については、会誌を10部、書評などに対しては三部を執筆者に贈呈します。

文献表記の仕方について

1. 邦語文献

(1) 単行本

・佐々木順三『教会暦年の研究』(聖公会出版社、1939年) 54頁

・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』(いのちのことば社、1978年) 53－54頁を参照。

(2) 一つの本の中に多くの著書があり、その一つひとつが独立した論文になっている場合

・岸本通夫「印欧語の移動とヒッタイト王国の台頭」『岩波講座、世界歴史』Ⅰ (岩波書店、1969年) 161－63頁

(3) 論文

・内田和彦「新約聖書における福音と文化」『福音主義神学』第19号(日本福音主義神学会、1988年) 96－117頁

(4) 直前に引用した本を続いて引用する場合

前掲書、32頁

(5) 間に別の本が入っている場合

・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』(著者名と書名だけ) 60頁

2. 外国語文献

一般原則は、次の本を、表記の具体例は (a) 以下を参照してください。

Kate L. Turabian. *A Mannual for Writers of Term Papers, Thesis, and Dissertations*, 4th ed., Chicago: University of Chicago Press, 1973.

(a) Books

One Author

Paul Thillich, *Systematic Theology*, 3 vols. (Chicago: University of Chicago Press, 1951—63), p.9.

Three authors

Bernard R. Berelson, Paul F. Lazarsfeld, and William McPhee, *Voting* (Chicago: University of Chicago Press, 1954), pp.93—95.

More than three authors

Jaroslav Pelikan et al., *Religion and the University*, York University Invitation Lecture Series (The University of Toronto Press, 1964), p.109.

Editor as "author" (same form used for compiler)

J.N.D.Anderson, ed., *The World's Religions* (London: Inter-Varsity Fellowship, 1950), p.143.

Article in a journal

Don Swanson, "Dialogue with a Catalogue," *Library Quarterly* 34 (December, 1963), p.115.

(b) "Ibid"

When references to the same work follow each other without any intervening reference, even though the references are separated by several pages, abbreviation "ibid." for the Latin ibidem, "in the same place" is used to repeat as much of the preceding reference as is appropriate for the new entry:

1 Max Plowman, *An Introduction to the Study of Blake* (London: Gollacs, 1952), p.32. [A first, and therefore complete, reference to the work.]

2 Ibid. [With no intervening reference; a second mention of Plowman's work requires only "Ibid." Notice that "Ibid." is not underlined.]

3 Ibid., p.68.

For a book, a second or later reference to a work already cited in full form, but not in the reference immediately preceding, omits the facts of publication, series title, if any, edition (unless more than one edition of the same work has been cited), and total number of volumes. Thus pared down, the reference consists of author's last name, title of the work, with page, and volume number as well, if necessary. Note the full reference in footnote I and a later reference to the work as shown in (arbitrarily numbered) footnote 9.

1 Gabriel Marcel, *The Mystery of Being*, 9 vols. (Chicago: Henry Regnery Co., 1960). 1:42.

9 Marcel, *Mystery of Being*, 2:98-99.

賛助会員一覧

日本福音主義神学会の運営は、次の賛助会員、諸教会、諸団体によって支えられております。ここに心からの感謝を申し上げます。

〈東部部会〉
日本基督バプテスト連合宣教団
東京基督教大学
柏崎聖書学院
東京聖書学院
東京基督神学校
聖契神学校
中央聖書神学校
日本キリスト改革派仙台教会
日本キリスト改革派東京恩寵教会
日本キリスト長老久我山教会
中央福音教会
練馬バプテスト教会
日本福音長老教会菊名西教会
練馬神の教会

〈中部部会〉
東海聖書神学塾
墨　鉦　平
〈西部部会〉
大阪キリスト教短期大学神学科
関西聖書学院
関西聖書学校
神戸改革派神学校
神戸キリスト教書店
神戸ルーテル神学校
堺大浜キリスト教会
四条畷キリスト教学院
福音聖書神学校
日本キリスト改革派神港教会
カベナンター書店

福音主義に立つ
アジアの
神学教育
敬虔に知力を尽くす
アジア神学協議会認可
アジア神学大学院日本校
(AGST/J)
理事長　佐布 正義　　校長　橋本 昭夫
教　務　倉沢 正則

◆神学博士課程（Doctor of Theology: Th.D.）
神学の各分野における最高度の専門的研究を行うことにより、神学教育機関で働く神学教師を育成。

◆神学修士課程（Master of Theology: Th.M.）
神学教育機関の教師の養成と教会活動の専門家を育成
聖書学（旧約・新約）専攻　・組織神学専攻
歴史神学専攻　・宣教学専攻

◆牧会学博士課程（Doctor of Ministry: D.Min.）
地域教会の牧会・伝道や世界宣教の分野における高度の専門的研究を行うことにより牧会・宣教の専門家を育成

神学博士2名、牧会学博士16名、神学修士8名の学位論文を出版、実費で頒布中。
2007年度在籍者　神学修士課程11名、牧会学博士課程13名。入学願書締切6月30日、入学試験8月下旬。

資料請求・問い合わせ先（各研修センター）

関東東部　〒270-1347　千葉県印西市内野3-301-5　東京キリスト教学園内
アジア神学大学院事務局　TEL 0476-46-1137

関東西部　〒189-8512　東京都東村山市廻田町1-30-1　東京聖書学院内
アジア神学大学院事務局　TEL 042-391-3076

本部／関西　〒651-0052　神戸市中央区中島通2-3-5　神戸ルーテル神学校内
関西アジア神学大学院事務局　TEL 078-221-6956

『神学と人文』第47集（2007年）

（大阪キリスト教短期大学紀要）

—論文目次—

1. 詩編第2篇の釈義的一考察　石黒 則年
2. エレミヤ書の様々な解釈をめぐって　塚本　惠
3. 「不正な管理人の譬え」の釈義的考察　津村 春英
4. 分かり易い授業をどう構想するか　日下 和信
5. 発達障害児支援センターの取り組みについて　高市 勢津子
6. これからの学生支援のあり方に関する一考察
—本学における総合的な学生支援体制づくりに向けて—　葉山 貴美子
7. 視聴覚教育授業に関する一考察
—「自己点検表」の評価結果を元に—　葉山 正行
8. 「鑑草」における「公平さ」をめぐる一考察　二見 素雅子
9. 本学学生の健康状態について（VI）
—1997年度生と2006年度生の調査結果の比較—　丸山 文子／堀　節子／東 由喜子
10. フォーカシングにおけるプレレンズ
—神学的な営みとして理解する試み—　矢野 キエ
11. 保育における音楽表現に関する一考察
—日本とハンガリーの状況を比較して—　山岸　徹
12. アルンダティ・ロイ、インド、世界
——人の人間にできること—　井上　央
13. 短期大学入学時学生の英語学習に対する意識調査　前川 洋子
14. キェルケゴールの女性論5
—文学批評『二つの時代』における女性の問題—　森田 美芽
15. The Encounter of Buddhism in Japan:
Lessons to be Learned for Christian Witness　D. E. ペリー
16. 大学の経営戦略と教育方法の確立に関する研究　林 雄太郎

長い伝統を今日に生かす（1905年創立）
大阪キリスト教短期大学
神学専攻では学位授与機構よりの唯一の認定校

2008年度　学生募集

国際教養学科—A. 神学基礎コース　B. キリスト教文化コース（高校卒業者対象　修業年限—2年）

専攻科（神学専攻）——聖職者育成神学専門コース

・願書受付　公募制推薦入試（神学）　2007年11月16日(金)～11月29日(木)
1期（神学及び神学専攻）　2008年1月17日(木)～1月31日(木)
2期（神学及び神学専攻）　2008年2月14日(木)～2月28日(木)
AO入試（神学及び神学専攻）　2008年3月7日(金)～3月14日(金)
・試験日　公募制推薦入試（神学）　2007年12月3日(月)
1期（神学及び神学専攻）　2008年2月4日(月)
2期（神学及び神学専攻）　2008年3月3日(月)
AO入試（神学および専攻科）　面接予定日　3月17日(月)

・専攻科修了者には、B.Th.あるいはM.Div.の称号（ATA認定）が授与され、また、学位授与機構により神学士号授与の道があります。・奨学金制度、社会人入試があります。

〒545-0042　大阪市阿倍野区丸山通1－3－61
大阪キリスト教短期大学
Tel (06)－6652－2091（代表）
Fax (06)－6652－2068

学校法人

東京キリスト教学園

建学の精神

福音主義　超教派

世界宣教　実践神学教育

ダイナミックな主の奉仕者の育成を目指して

住所　〒270－1347 千葉県印西市内野三丁目301－5－1
Tel 0476－46－1131（代）Fax 0476－46－1405
理事長・学園長　赤江 弘之

東京基督教大学

Tel 0476（46）1131
学長　倉沢 正則
特色●一つの神学部からなる神学大学である。
学科●神学科（牧師、伝道師、宣教師の養成）と国際キリスト教学科（宣教師、キリスト教界における幅広い奉仕者などを養成）の2学科を有する。
●募集人員　神学科21名、国際キリスト教学科21名、合計42名
●願書締切　AO入試：2007年1月17日、推薦2期1月29日、一般1期：2007年1月29日消印有効　一般2期：3月9日必着
●試験期日　AO入試：2007年2月27日（詳細はお問い合わせください）、推薦2期2月9日、一般1期：2月9日、一般2期：3月20日、
●入試科目　AO：書類審査、面接、課題提出等を通しての総合評価　一般入試：書類審査、聖書、英語、小論文　推薦入試：書類審査、面接
●編入学試験、社会人入試、帰国子女入試、留学生入試あり　詳細は教務課入試係まで

東京基督神学校

Tel 0476（46）1135
校長　山口陽一
特色●神学科　教職コース（M. Div.）：3年、大卒者対象の牧師・伝道師・宣教師育成のための神学教育機関
●音楽科　音楽短大卒または大卒者対象の教会音楽主事等育成のための教会音楽教育機関
試験日●〔神学科〕第一回試験　1月30日（火）
第二回試験　2月27日（火）
〔音楽科〕2月8日（木）
出願期限●〔神学科〕第1期　1月16日（火）、第2期　2月13日（火）
〔音楽科〕1月25日（木）
1. 4年制大学を卒業した者、または2006年度卒業見込みの者。
2. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本校に認められた者。
[以下は音楽科のみ]
3. 音楽短期大学（2年）卒業または、専攻科修了者
4. 外国において学校教育における16年の課程修了者
試験科目●〔神学科〕聖書・英語・小論文・作文・面接
〔音楽科〕聖書・音楽理論・実技・面接
募集定員●神学科20名　音楽科5名
★詳細は本校事務局までお問い合わせください。

付属機関

- 共立基督教研究所　所長：稲垣久和
  神学及び諸科学ならびに諸文化に関する理論的、実践的調査研究とそれに関する諸活動を行うことを目的とした研究機関。
- 国際宣教センター　センター長：倉沢正則
  世界宣教の使命の元に、「宣教の理論」のみならず、「現場での実践」からフィードバックされてくる問題意識や課題を取り上げ、神学や宣教学と統合して検討し、それを諸教会・諸団体に分かち合うための研究機関。
- 図書館　図書館長：稲垣久和
  神学部単科の大学図書館としてキリスト教及び宗教学関係の資料を主に収集、所蔵している。現在、蔵書数は約7万冊。

専任教師陣

伊藤　明生	菊池　実	天田　繁	宮腰　聡史		
稲垣　久和	倉沢　正則	フランク・シージー	柳沢　美和子		
岩田　三枝子	小林　高徳	豊川　慎	大和　章平		
宇内　千晴	櫻井　園郎	森　恵子	油井　義昭		
岡村　直樹	柴田　敏彦	西岡　力			
ジェームス・ガスタフソン	ランドル・ショート	ステパノ・フランクリン			
木内　伸嘉	杉谷　乃百合	ジョセフ・ポーシャック			

創立1901年　ますます拡充、前進を続ける。〒189-8512 東京都東村山市廻田町1－30－1
Tel 042－391－3076（事務所内）－（金）～5時）
Fax 042－397－7558
■交通／西武新宿線東村山駅または武蔵大和駅下車

東京聖書学院

【特　色】　●聖書の十全霊感を信じ、聖化の信仰に立つ聖書神学重視

【募集科目】　(1) 本科　（大学卒3年、高校卒4年）＊その他インターン制度あり
＊本科生は原則として全寮制、＊本科入学希望者は、教会において献身者としての奉仕経験及び訓練が半年以上あることが求められます。
(2) 信徒コース（通学生、通信生）
＊講座名、申込方法については学院事務所にお問い合わせください。

【入学要項】　２００８年度入学
第一回願書締切　2007年11月13日
第一回試験　2007年11月21日
第二回願書締切　2008年2月26日
第二回試験　2008年3月5日
提出書類、授業料、食費その他については教務課宛に問い合わせてください。
http://www.jhc.or.jp/tbs/
e-mail: tbs@jhc.or.jp

福音聖書神学校

校　長：真鍋　孝
モットー：初代キリスト教会の信仰と実践に堅く立ち、兄弟愛をもって規律ある訓練と教育をほどこす。
聖書信仰が強調され、それに基づく組織神学、実践神学が教えられる。アナバプテスト宗教改革精神を継承し、救済史のキリスト再臨時におけるイスラエル民族の独自の役割を認める穏健カルヴィン神学の立場をとる。
課　程：本科神学課程（短大卒以上3年）
本科キリスト教育学課程（短大卒以上3年）
教会伝道者課程（レイマン）聴講制度あり
入学手続：願書締切　2008年2月11日
入学試験　2008年2月18日、聖書・国語・英語の筆記試験と面接
詳細は神学校宛に問い合わせてください。
教師陣：日本メノナイト ブレザレン教団の教職他
備　考：牧師と教会の推薦する者の聴講を許可している。教会伝道者課程はレイマンの指導者要請を目的とするが、本科への転入も可能である。

日本メノナイト ブレザレン教団立（超教派に学生募集）
〒563-0038　大阪府池田市荘園2丁目1番12号　TEL 072－761－1397
e-mail：ebs@wombat.zaq.ne.jp　FAX 072－761－8200

神戸ルーテル神学校

Sola Scriptura, Sola Gradia et Sola Fide
- ad Adventum Domini

聖書に立ち、恵みに支えられ、信仰に生きる
――主の来たりたもう日に向かって

◆神戸ルーテル神学校は、1997年、創立40周年を迎えました。福音主義的諸神学校との緊密な協力のもと、神学教育のわざに励むことができたことを感謝しています。卒業生も、他神学校からの神学修士課程履修生も含めますと178名を数えるにいたりました。ルター主義に立つ超教派の神学校として、ルーテル教会、改革派、メノナイト、福音自由、ホーリネス、在日大韓教会などに、さらにアメリカ、インドネシアなどにも宣教師を送り出しました。神学修士課程の学びに加えて、教職Aコース、Bコースをもち、多彩な神学的ニーズに対応しようとしています。さらに充実した神学教育を通して積極的に日本の教会に貢献しようとしています。

◆毎年、夏（7月上旬）と秋（10月下旬）にリフレッシュ・コースという名のもとに、著名な講師などをお迎えして神学の集中講座を行っています。また、通信教育を通して神学の学びをすることができます。現在、「旧約学」「新約学」「説教学」「実践神学」の分野で優れた教材が用意されています。

◆アジア神学大学院日本校（AGST／J）の神戸研修センターとして、神学博士課程の学びにまでいたる神学研修の道を開いています。

◆願書締切　2月末日、入学試験　3月中旬。

教師陣

〈教授〉
- 橋本 昭夫（組織神学、歴史神学）
- 鍋谷 堯爾（旧約学、実践神学）
- B・ハウゲ（新約学）

〈助教授〉
- 正木牧人（教務主任）
- 有木 義岳（実践神学）

〈客員教授〉
- 徳善 義和（歴史神学）
- 角川 周治郎（宗教哲学）

〈講師〉
- 田端　武（新約学）
- 竹内 茂夫（旧約学）
- 田村 弘子（音楽）
- 正木うらら（ギリシア語）
- 千金 町子（歴史神学）
- 石居 正己（歴史神学）
- レア・ルッカ（新約学）
- 小賀野 英次（旧約学）
- 海老原 道雄

校長　橋本昭夫

問い合わせは右記へ

〒651-0052 神戸市中央区中島通2－3－5
TEL　078－221－6956
FAX　078－221－5825
e-mail：office@koluthse.jp
振替　01130－5－45575

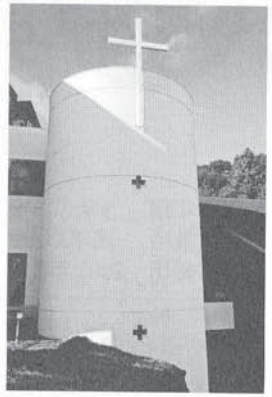
十字架と聖霊　そして宣教

理事長：豊村善典
学院長：大田裕作

関西聖書学院

1961年創立

【特色】全寮制・実践科目も充実！
福音派にも聖霊派にも通用する実践的働き人の育成



【コース】導きや献身を確かめながら、
3週間コースからスタートできます
- ◆短期コース（毎年4月 3週間）
- ◆1年コース（信徒リーダー・役員コース）
- ◆3年コース（教職者コース）

“受ける側から与える側へ”
宣教師訓練コース（5月～11月 木・金の週2回）
- ・有力宣教団体公認
- ・宣教経験者による充実講義
- ・明確な召命のある方の派遣前準備
- ・宣教についての関心のある方

〒630－0266 奈良県生駒市門前町22－1　TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601
E-mail:kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp URL:http//www.kbiwave.com/

日本キリスト改革派教会

神戸改革派神学校

●学生募集●

理事長　小野 静雄　　校長　市川 康則

●教育方針　歴史的改革派神学に立ち、神の真理を正確に教えうる教師、恥じるところのない牧者、忠実な伝道者を養成する。

●本科受験資格　一年以上の忠実な教会員生活を送り、みことばの役者となるべく神からの召命を自覚している四年制大学卒業、あるいは同等の学力のある男子。

●他に別科・特別研究科・聴講制度あり。

●願書締切　2008年2月15日（金）までに提出のこと　●試験日　2008年3月18日（火）
●修学年限　本科3年3か月（四年制大学卒または同等以上の男子）
別科3年3か月（短大卒または同等以上の男女）
●所在地　651-1306　神戸市北区菖蒲が丘3丁目1－3
電話 078 - 952 - 2266　FAX 078 - 952 - 2165　郵便振替 01140 - 5 - 12672
e-mail：rcj-kobe2266@nifty.com

ペンテコステ信仰にたって福音宣教の
使命に燃える者を訓練・育成する

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校

（ATA認定校）

校長　菊山　和夫

修業年限　3年　（高卒―Diploma、大卒―B. Th.）
入学資格　高卒以上、召命の確信がある者
願書締切　2007年2月13日　　入学受験　2月20日

本校・関東分校：〒170-0003　東京都豊島区駒込3-15-20
Tel:03-3918-4925　Fax:03-3918-4064
関西分校：〒663-8184　西宮市鳴尾町1-10-7
Tel :0798-41-4428　Fax:0798-41-4448
E-mail cbc@ag-j.or.jp　http://www.cbc-j.ac.jp

『福音主義神学』
バック・ナンバーご希望の方へ

既刊三十五冊の『福音主義神学』バック・ナンバーの入手を希望される方に朗報。残部は僅少ですが、在庫分は割引価格でご購入いただけます。

	特集テーマ	定価
一五号	「福音主義聖書論」	一、七〇〇円
一六号	「生と死」	一、七〇〇円
一七号	「贖罪と説教」	二、〇〇〇円
一八号	「教会論」	二、〇〇〇円
一九号	「福音と文化」	二、五〇〇円
二〇号	「創造論」	二、五〇〇円
二一号	「福音と日本文化」	二、五〇〇円
二二号	「救済論」	二、八〇〇円
二三号	「聖霊論」	二、八〇〇円
二四号	「礼拝論」	二、八〇〇円
二五号	「科学と信仰」	二、五〇〇円
二六号	「戦後日本の教会」	二、五〇〇円
二七号	「戦争」	二、五〇〇円
二八号	「人間の宗教性」	二、五〇〇円
二九号	「説教」	二、五〇〇円
三〇号	「聖書解釈学」	二、五〇〇円
三一号	「終末論」	二、〇〇〇円
三二号	「女性教職論」	二、〇〇〇円
三三号	「牧会カウンセリング」	二、〇〇〇円
三四号	「「いのち」をめぐって」	二、〇〇〇円
三五号	「讃美歌」	二、〇〇〇円
三六号	「祈り」	一、五〇〇円
三七号	「霊性」	一、五〇〇円

ご希望の方は、直接、発行者あるいは各部会事務局までご注文、お問い合わせください。

福音主義神学　第38号

2007年12月15日発行
定価：本体 1,500円（税別）

編集者　市川 康則　（西部・編集長）
安黒　努　（西部）
松浦　剛　（中部）
檀原 久由　（中部）
木内 伸嘉　（東部）
藤本　満　（東部）

発　行　日本福音主義神学会
理事長　内田　和彦
事務局　651-0052　神戸市中央区中島通2－3－5
神戸ルーテル神学校内
電話078-221-6956
FAX 078-221-5825

印　刷　キクラ印刷株式会社
933-0322　富山県高岡市樋詰48－2